

# 札幌「ココノ ススキノ」内

## ラジオスタジオが開設

### 共創型で地域情報を発信

札幌市中央区に昨年11月30日開業した商業施設「COCOON SUSU KINOKO」(ココノ ススキノ)内で、ラジオスタジオ「MID.α STUDIO」が開設した。ここは従来の「ラジオ放送局」に属する「ラジオ放送局」ではなく、さまざまな放送局と人々が地域の生の情報を発信する「全国初共創型オープンラジオスタジオ」として稼働中だ。



全国初という共創型のオープンラジオスタジオ

どの収録に使用されている。実したサポートで最適な環境を整えているという。スタジオの周囲の上下はトリプルワンが担う。壁面には大型LEDディスプレイで収録の様子をリアルタイムで配信。高解像度LEDで、高さ96センチ、幅729センチのスタジオは、壁面が上から下まで設置されている。アビックス営業本部セールのエグゼクティブの進め今回の設置となった加藤三憲氏は「当社では、ココノ ススキノの屋外壁面の大型LEDディスプレイも設置したが、このラジオスタジオは屋外壁面とは別の計画で進んでいる。運営会社のトリプルワンとの契約で話を進め今回の設置となった」と話す。

## アストロデザイン 札幌国際芸術祭に協賛

### アート作品への機材協力

アストロデザインは、1月20日-2月25日の日程で開催中の「札幌国際芸術祭2024 (SIA F2024)」に協賛し、アート作品への機材協力を行っている。札幌国際芸術祭は、札幌市内のさまざまな場所で開催されるアート展覧会やパフォーマンスの多彩な作品やプロジェクトを披露する。アストロデザインは、札幌市内のさまざまな場所で開催されるアート展覧会やパフォーマンスの多彩な作品やプロジェクトを披露する。

アストロデザインは、1月20日-2月25日の日程で開催中の「札幌国際芸術祭2024 (SIA F2024)」に協賛し、アート作品への機材協力を行っている。札幌国際芸術祭は、札幌市内のさまざまな場所で開催されるアート展覧会やパフォーマンスの多彩な作品やプロジェクトを披露する。アストロデザインは、札幌市内のさまざまな場所で開催されるアート展覧会やパフォーマンスの多彩な作品やプロジェクトを披露する。

ソニーグループ(以下、ソニー)は17日、「STAR SPHERE (スタースフィア)」プロジェクトにおいて、運用する超小型人工衛星「EYE (アイ)」の操作に用いるウェブアプリケーション「EYEコネク」を公式サイトで公開した。また、同ウェブアプリケーションを通じて、ユーザーが宇宙から地球を撮影することができるサービスとして「宇宙撮影体験」を、3月から期間限定で一部の人(抽選当選者)に向けて提供を開

## ソニーグループ 超小型人工衛星の操作可能 サイトでウェブアプリ公開

「EYEコネク」は、専門的な知識を持たないユーザーでも、事前に「EYE」の位置や姿勢状況を確認しながら、撮影に必要なコマンドを入力することをサポートするウェブアプリケーション「EYE」を通じて「宇宙撮影体験」は、宇宙とつながる世界観を楽しんでもらうために、3月中旬に、抽選で選ばれた30組への提供を予定しており、2月13日から募集を開始する。追加の体験に取組んでいる。

宮城県警察署から感謝状授受 J・COM仙台

仙台市(宮城県)は、1月16日に感謝状を授受した。同件は、2023年10月9日に締結した「地域安全に関する協定」に基づき、特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の被害防止や交通事故防止に関する活動のほか、各種犯罪や事故の防止にかかる広報啓発、情報発信活動などを通して、J・COM仙台が安全・安心な地域社会の実現に貢献したことが評価された。

# Ginza Sakuraya

TOTAL AV SOLUTION

ハイクオリティな映像表現に必要な機器のすべてを、トータルにサポートできる豊富なラインナップと技術力。

## それが、プロフェッショナルたちに選ばれる理由。

**C**apturing 撮る

**E**ditting つなぐ

▶▶ 銀座サクラヤのCESコンセプト

**S**howing 見せる

映像・音響機器のレンタル・販売 **株式会社 銀座サクラヤ**

http://www.ginzasakuraya.com

# バーチャル・ライン・スタジオ「Vista Splat Pro」 UEプラグインを共同開発、発売 3D Gaussian Splattingデータを描画



Vista Splat Proにより、Unreal Engine上の3D Gaussian Splattingデータに影を描画

## VP用高品質CGを効率制作

バーチャル・ライン・スタジオ（東京都調布市）は、3D Gaussian Splatting (3D Gaussian Splatting) データを、アンリアルエ

ンジン (UE) で描画・編集できるプラグインソフトウェア「Vista Splat Pro」を発売した。

デジタル・フロントティア (東京都渋谷区) および、空き家総合研究所の家総研VRラボ、大阪府八尾市) との共同開発となる。

3D Gaussian Splattingは、複数の写真から3Dシーンを再構成する技術。画像生成技術NeRF (Neural Radiance Fields) と同等以上の精度を持つと同時に、NeRFよりも描画負荷が低いので扱いやすい。

同ソフトは、この3D Gaussian Splattingのプラグインの開発に着手した。同社は「VPを利用して、3D CG背景をいかにハイクオリティかつ効率的に制作できるかが課題。この解決方法の一つとして、3D Gaussian Splattingのモデルに動的な影を落とせるので、UEを利用したバーチャルプロダクション (VP) 制作における表現の可能性を拡大できる。複数モデルの配置も可能。価格は14万9800円。創作物マーケットプレイス「BOOTH」(booth.pm) で販売している。

VP制作の課題を解消するVista Splat Proは、VRラボ、大阪府八尾市) との共同開発と、空き家総合研究所の家総研VRラボは、「Mocap For All」など独自のオリジナルソフトウェアをUE向けに開発。2023年からVista Splat Proの開発に協力している。

Vista Splat Proは、ソフトの追加開発および、同ソフトで利用できる背景データの制作・販売もしている。

また、第4世代Tensor Coreと第3世代RT Coreを搭載。前者はAIによる追加工の生成で、後者はAIによる追加工の生成で、CPUは、1月9日に発表されたIntel Core Ultra 7 (第14世代) を搭載。24時間365日の無償電話サポートと3年間の無償保証も付いている。

ラトックシステムは、コイケが認定ディストリビューターを務めるクリエイティブファイバーケーブル「CLS-AOC U32/FF」シリーズの取り扱いを始めた。KRAMERは業務用映像機器の分野で世界的に知られており、コイケは製品の輸入から販売、マーケティング、技術サポートまで担当している。

## ラトックシステム 4Kを10Gbpsで高速伝送 USB-Cファイバーを販売



CLS-AOCU32/FFシリーズ

CLS-AOCU32/B3・2 Gen2 (SuperSpeed+) に対応し、4K@60fps、最大100Wの電源供給をケーブル1本で可能にする。ケーブルはコネクタの抜け落ちを防ぐK

マウスコンピューターは、ゲーミングパソコンブランド「G-Tune」から、NVIDIAの最新グラフィックカード (GeForce RTX 4070 SUPER) を搭載したデスクトップパソコンを「G-Tune DGシリーズ」へ追加し、18日に発売した。同カードは、エイダ・ラファレス (Ada Lovelace) アーキテクチャーを採用。従来製品RTX 4070と比較してCUDAコ

## マウスコンピューター ゲーミングPCに最新GPU 映像処理能力が向上



G-Tune DG-I7G7S (画像はイメージ。キーボード、マウス、ディスプレイはオプション)

アが5888から7168に増え、映像の処理能力が向上した。また、第4世代Tensor Coreと第3世代RT Coreを搭載。前者はAIによる追加工の生成で、後者はAIによる追加工の生成で、CPUは、1月9日に発表されたIntel Core Ultra 7 (第14世代) を搭載。24時間365日の無償電話サポートと3年間の無償保証も付いている。

で培われた音響特性モデル (HRTF: 頭部音響伝達関数) を継承し、音声コンテンツを高精細に空間定位させることで、インタラクティブで高品位な音響定位と音空間のデザインを可能にする。「グランブルーファンタジー リンク」では、イヤホンやヘッドホンでプレーするユーザーに豊かな音響体験を提供し、ゲームへの没入感を最大限に高めるために同技術が選ばれた。



16K8KステレオVRシステムの展示

## アストロデザイン 16K8K VRカメラを実演 XR Kaiigiに出展

アストロデザインは2023年12月に開催されたXR/メタバースカンファレンス「XR Kaiigi 2023」(主催: Mogura) に出展し、示した。

同システムは、マルチプラットフォーム「Tamazon Station」を使い、最大16K8K/60p映像の撮影・収録が可能。横幅68cmのカメラヘッドで自然な両眼視差を実現し、高解像度でスティッチングのない映像をリアルタイムで出力する。同イベントは23年で5

## ヤマハ 立体音響Sound xRを披露 「グラブル」最新作にも採用



Sound xRのデモ

Sound xRは、通常のイヤホン・ヘッドホンで360度あらゆる方向の音を立体的に表現できる。同社の立体音響総合技術「Virtual Reality」の研究開発

ヤマハはイベント「XR Kaiigi」で、イギリスの新作アクションRPG「グランブルーファンタジー リンク」に採用されている。Sound xRは、通常のイヤホン・ヘッドホンで360度あらゆる方向の音を立体的に表現できる。同社の立体音響総合技術「Virtual Reality」の研究開発